

	人権課題 No.	種類	題名	子ども向け	制作年	(分)	内容
アニメ(再掲)	障がい1	VHS	とべないホテル	○	1990	17	とべないホテルをかばってホテルとりにきた子の手へ飛び込んでいったホテルの話。
	同和19	VHS	Cherryblossom チェリーブラッサム		1992	42	友情や愛情の関わりの中で、差別に直面した時、どうするのか?という問いかけを映像化。(3つのエピソードでオムニバス構成。)
	同和22	VHS	菜の花	○	1996	20	語り伝えをもとに、人間らしく生きる道を奪われた人々の悲しみと怒りそして誇りを描く。
	同和28	VHS	渋染一揆～明日に架ける虹～		2001	30	小学教科書に採用されている史上名高い幕末岡山の人権一揆。人間としての誇りに命を賭けた人々と一揆の顛末を、少年の視点から分かりやすく描いた時代劇アニメーション。
	複数2	VHS	夢、空高く		2001	41	凧あげ大会の準備にかかわっていく中で、親や子どもの自立の問題や、いろいろな人間が共生し協力していくことがなぜ大切なのかということ投げかける。
	子ども2	DVD	プレゼント	○	2003	15	友だちの誕生日プレゼントをきっかけに広がっていくいじめ。それに対し、解決をめざしてどのような取り組みがあるのかを考えていく。
	複数4	VHS	いつもところにほほえみをVOL.1	○	2004	24	人として生き合うことの大切さを大人と子どもが話し合えるよう、やさしく描いた小作品集。
	複数6	VHS	めばえの朝		2004	41	家族とその周りの人々のふれあいや葛藤を通して、「相手を理解すること」、「尊重し合うこと」、そして「自分の問題として行動すること」の大切さやすばらしさを描く。
	子ども4	VHS	ひびけ!和だいこ	○	2004	25	「子どもの権利条約」を踏まえ、大人と子どもの関わり方を中心に、「他人の権利を大切にすることが自分の権利を守ることであり」と気づくことを学ぶ。
	子ども5	VHS	心のキャッチボール	○	2005	23	父親の死をきっかけに、友達や周囲の大人との関わりの中で、「他人を尊重して行動すること」「自己を肯定し、自分を大事にすること」などの大切さを学ぶ。
	HIV3	VHS	未来への虹 ～ぼくのおじさんはハンセン病～	○	2005	30	国立療養所多摩全生園のハンセン病患者をモデルにしたアニメ。差別の痛みや苦しみ、帰りたいけれども帰れないふるさとへの思い、そして「人権」の大切さを語りかける。
	複数7	VHS	旅立ちの日に	○	2005	40	人権を尊重することが市民の日常生活の中で当たり前行動として自然に出てくる社会を作る、「心のバリアフリー」を形成していく様子を描く。
	複数8	VHS	この空の下で	○	2006	42	地域の人々にある心の壁、自分の心の壁に気づき、その心の壁を壊すために、夏祭りを通して人との出会い・ふれあい・わかり合うことこの大切さを描く。
	障がい8	DVD	桃色のクレヨン	○	2006	28	知的障がいのいとこのふれあいを通じて大切なことに気付いていく主人公の姿を描いたアニメ。
	その他7	VHS	ひまわりのように		2007	42	この作品を通して人と人がつながり合うこと、また支えあうことがみんなの夢や生きがい、幸せにつながることに気づききっかけに。
	拉致被害1	DVD	めぐみ		2008	25	中学校1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の様を描いたドキュメンタリー。
	高齢者3	DVD	夢のつづき		2008	40	高齢者の尊厳を守り、誰もが最後まで自分らしく生きることができる社会を現実するためにどうするかを考える。
	子ども7	DVD	ボクとガク～あの夏のものごとり～	○	2010	42	小学5年生の希望と岳という2人の子どもとおばあさんとの交流を描きながら、子どもの人権や地域で育む人権文化に目を向け、「戦争と平和」についても描く。
	その他12	DVD	探梅 春遠からじ		2011	40	「排除」や「孤立」を生み出す社会ではなく、違いを認め、支え合い、あらゆる人を包み込む社会をつくっていきたい、という視点から「包み込む社会」に焦点を当てる。
	その他13	DVD	虹のきずな	○	2012	31	不正確な知識や思い込みによって引き起こされる人権問題や差別。それらに対して、自分の問題として捉える意識、互いに認め合う姿勢が重要であることを考えていく。
複数18	DVD	光射す空へ		2015	32	根強く残る同和問題。また、性同一性障害や性的指向における少数派の人々に対する誤解や偏見。このアニメでは、「正しい知識と理解」「多様性の受容と尊重」の大切さを描く。	
その他18	DVD	わたしたちが伝えたい大切なこと～アニメで見る 全国中学生人権作文コンテスト入賞作品～		2017	31	「全国中学生人権作文コンテスト」の入賞作品を基に制作。どの作品も、日常生活の中で「人権」について理解を深めていった気付きのプロセスを描く。	
HIV等11	DVD	ハンセン病問題を知る～元患者と家族の思い～		2021	34	隔離政策によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、ハンセン病患者やその家族のエピソードをアニメーション化し、国立ハンセン病資料館学芸員による解説とともに収録している。	

	人権課題 No.	種類	題 名	制作年	(分)	内 容
兵庫県人権啓発協会制作（再掲）	同和 21	VHS	地域社会のなかの人権感覚 (オートスライド)	1995	24	身近な地域社会のくらしの中で、差別につながるような言動がないかどうかを見つめ直す。
	同和 33	VHS	私の好きなまち	2005	35	誰もが体験しうる身近な問題を取り上げ、「それぞれの違いを認め合い共に生きる」「相手を思いやる」ことの大切さを私たちに訴えかける。
	障がい 7	VHS	壁のないまち	2005	35	社会の中で障害のある人たちが、どのような状況に置かれているのかに気づき、どうすればユニバーサル社会を築くことができるのかを考える。
	ネット 2	VHS	夕映えのみち	2007	38	インターネット社会で「どう生きるか」「人とどう関わるか」等を考え、「相手をおもいやる」ことの大切さを見つめ直す。
	その他 9	VHS DVD	親愛なるあなたへ	2008	37	一人一人の「気づき」こそが、互いに支え合う力が低下した地域の『再生』につながる。暖かい見守りと相互支援を進めることの大切さを語りかける。
	子ども 6	VHS	こころに咲く花	2008	35	いじめ構造の中で多数を占める傍観者、観衆達が一步を踏み出して、勇気をもって声を発すれば、必ずいじめの解決につながるということを訴えかけるドラマ。
	ネット 4	DVD	あの空の向こうに	2009	38	文明の利器を凶器に変えるのも、傷ついた心を癒すのも「人」。心が寄り添うコミュニケーションを図ることの大切さと家庭の果たす役割を考える作品。
	子ども 8	VHS DVD	クリームパン	2010	36	子どもへの虐待や若者の自殺など社会問題になっている事件を通して、今一度、「いのち」について自分の問題として考える。
	その他 11	DVD	桃香の自由帳	2011	36	日常の何気ない言動を振り返ることで、現代を生きる私たちが見失いつつある、人と人が寄り添い、共に生きる温かな世界とは何かについて語りかける。
	震災・災害 2	DVD	ほんとの空	2012	36	排除意識や同和問題、風評被害など、多くの人権課題の根底には、私たちの誤った考え方や思い込み・偏見が存在している。他者の気持ちに共感することの大切さを考える。
	その他 16	DVD	ヒーロー	2013	34	地域社会と縁を持たなかった主人公が、あるきっかけから地域とかかわるようになり、今まで意識しなかった近所の高齢者や家族と出会っていく。
	同和 39	DVD	あなたに伝えたいこと	2014	36	「インターネット時代における同和問題」をテーマに、同和問題を正面から取り上げ、正しく知ることが同和問題をはじめとする人権問題の解決につながることを描く。
	高齢者 4	DVD	ここから歩き始める	2015	34	「認知症を共に生きる」をテーマに、高齢者が人間として誇りを持って生きていく上で大切なことについて、家族や地域の視点を通して考える。
	障がい 16	DVD	風の匂い	2016	34	歩には知的障害があるが、子どものころは共に遊び、共に学ぶ「大切な友だち」。しかし、大人になった2人を隔てる健常者と障害者という壁。
	女性 6	DVD	あした 咲く	2017	36	姉妹での対立や父との対話、地域とのふれあいを通して、別の視点や価値観に気づく。全ての人々が「自分の花」を咲かせることができる、多様性尊重社会の実現をめざす。
	子ども 12	DVD	君が、いるから	2018	33	社会の希望であり、未来をつくる存在である子どもや若者が被害者や加害者になる悲痛な事件が後を絶たない。「すぐ隣」で苦しんでいる誰かに気づくためのドラマ教材。
	外国人 9	DVD	サラマット～あなたの言葉で～	2019	36	外国の人々と共に生きる時代になったが「違い」や偏見から面倒な存在と感じる人もいる。多文化共生の実現を目指し、外国人は対等な仲間であることを理解していく。
	8050 1	DVD	カンパニユラの夢	2020	36	喫茶店で働き始めた主人公が、20年以上引きこもり状態にある男性とその両親の苦悩に寄り添い解決を求め行動を起こす。8050問題は誰にでも起こりうることを認識し、互いに助け合うことで地域共生社会の実現を目指すドラマ。
	子ども 15	DVD	夕焼け ケアラー～だれもが人権尊重される社会を～	2021	35	相手が家族や親しい人であっても、毎日誰かの世話をすることは、身体的、精神的、さらに経済的にも大きな負担がかかる。お互いを気にかけて、人と人がつながっていくことが、ケアラーと家族が抱える問題解決の糸口になる。
	LGBT 11	DVD	パースデイ 性の多様性を認め合う	2022	37	性のあり方は多様で一人ひとりの人権に関わることであるため、性的少数者の存在や悩みに気づくことが大切である。その多様性を認め、互いの人権を尊重することは、すべての人が自分らしく生きていける社会につながっている。
同和 46	DVD	「大切なひと」 ネット社会における部落差別と人権	2023	34	インターネット上の一部の情報が、誤った認識や差別意識を助長すること、表現の自由を逸脱した許されない行為であると気づく大切さ等を理解するとともに、差別のない社会、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざします。	
子ども 19	DVD	あなたのいる庭	2024	35	次代の社会を担う子供たちが自分らしく幸せに成長でき、暮らせるように、社会全体で支えていかなければなりません。「子どもの人権」について改めて考え、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざすことをめざして制作されました。	
子ども 20	DVD	「見上げれば」社会におけるひきこもりと人権	2025	34	できるだけ早い段階で適切な支援につながることの重要性、信頼できる他者とのつながりや、寄り添ってくれる人の居る「居場所」が回復のきっかけになることを伝えます。	